

# ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

平成 28 年 4 月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

## 1 建設業界のトピックス

### ■理系大学生への人材ニーズは高いが、5割の企業が採用計画人数を確保できていない

厚生労働省が3月15日に公表した2016年2月の「労働経済動向調査」の結果から、建設業における2016年の学歴別新規学卒者の採用動向を見ると図表①となる。2016年3月卒業生について、新規学卒者の「採用計画・採用予定がある」企業の割合を学歴別に見ると、高校卒 54%、高専・短大卒 34%、大学卒(文科系)42%、大学卒(理科系)56%、大学院卒 28%、専修学校卒 25%となっており、将来的な建設技術者候補である理系大学生に対する人材ニーズが最も高くなっている。

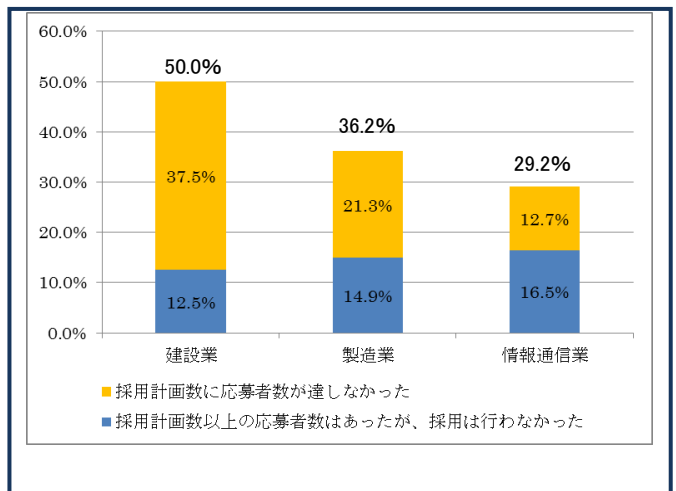
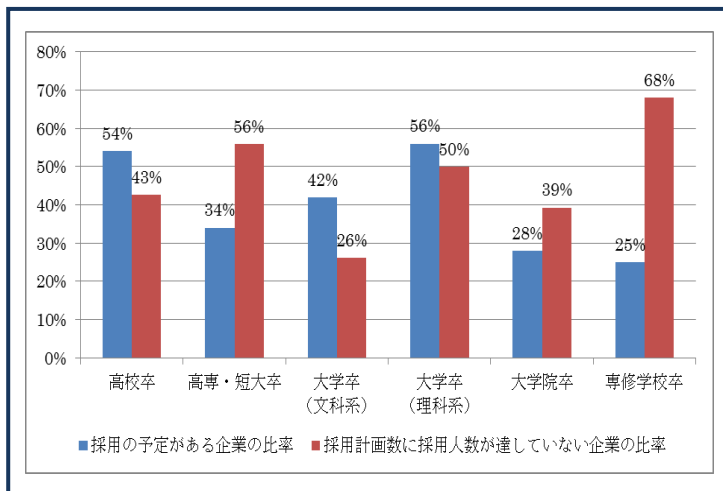
「採用計画・採用予定がある」企業のうち、採用計画の人数に採用内定数が達していない企業の割合を学歴別に見ると、高校卒 43%、高専・短大卒 56%、大学卒(文科系)26%、大学卒(理科系)50%、大学院卒 39%、専修学校卒 68%となり、最も人材ニーズの高い理系大学生に関して、5割の企業が採用計画人数を確保できていない。

理系大学生の採用実績について製造業及び情報通信業と比較すると図表②となる。製造業では採用計画の人数に採用内定数が達していない企業の割合は36.2%、情報通信業では29.2%となっており、建設業と比較すると採用計画を達成できない企業の比率は低い。また、採用計画数に応募者数が達しなかった比率を見ると、製造業では21.3%、情報通信業では12.7%であるのに対して、建設業では37.5%に達しており、建設業各社が理系大学生のリクルートで非常に苦勞していることが分かる。

周知のように、建設業界においては人材の量的不足と同時に高齢化が大きな問題となっており、人材の若返りという視点でも理系大学生の確保は重要な課題である。建設業各社においては、このような現状を踏まえて、理系大学生確保のために様々なリクルート戦略を打ち出すことが求められている。また、新卒市場において理系学生確保に苦勞している現状を考えると、中途採用市場においても若手の技術者候補の採用を強化することが必要になりそうである。

<図表① 建設業における学歴別採用動向(2016年3月卒業)>

<図表② 理系大学生の採用計画数に採用人数が達していない企業の比率>



出典:厚生労働省「2016年2月労働経済動向調査」より作成

■このレポートに関する問合せ■ 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 1 階

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当 TEL:03-6846-9050 Mail:ht@athuman.com

## 2 建設業界の最新雇用関連データ(2016年3月29日公表)

### (1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は478万人(前年同月比99.8%)、雇用者数は386万人(同99.7%)といずれも前年を若干下回る

#### <建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
就業者数(万人)	479	498	510	505	510	498	491	505	516	508	494	472	478
前年同月比	96.2%	97.8%	100.0%	98.8%	101.8%	101.4%	97.0%	100.0%	98.5%	98.4%	98.2%	96.5%	99.8%
雇用者数(万人)	387	404	412	412	421	405	404	410	419	413	403	382	386
前年同月比	96.0%	97.1%	100.0%	99.3%	103.7%	102.5%	99.0%	100.0%	98.6%	97.6%	97.6%	95.5%	99.7%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆建設業の新規求人数は62,356人(前年同月比107.2%)となり、前年を上回った

#### <建設業の新規求人数の推移(新規学卒者とパートを除く)>

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
新規求人数(人)	58,172	59,353	62,930	54,556	61,372	64,799	55,170	61,820	66,649	54,797	52,776	64,418	62,356
前年同月比	96.0%	99.8%	94.5%	90.4%	101.9%	99.4%	97.1%	96.9%	99.7%	103.0%	104.5%	99.5%	107.2%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (2)建設技術職の雇用動向

◆建築・土木・測量技術者の有効求人倍率は4.71倍(前年同月比0.48ポイント上昇)と9カ月連続で前年同月を上回る

◆充足率は3.8%と更に低下し、建設業各社にとって建設技術者の確保は非常に困難な状況となっている

#### <建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
新規求人数(人)	16,288	16,016	17,262	15,233	17,276	17,892	15,747	16,563	17,870	15,929	15,584	17,172	18,191
有効求人人数(人)	48,185	49,461	48,638	47,527	48,925	49,258	49,313	49,268	49,436	49,590	48,598	47,863	50,246
新規求職者数(人)	2,788	3,279	4,679	3,063	3,027	2,960	2,591	2,600	2,852	2,436	2,161	2,759	2,835
有効求職者数(人)	11,389	12,187	13,640	13,356	13,022	12,391	11,873	11,662	11,625	11,125	10,431	10,461	10,662
有効求人倍率	4.23	4.06	3.57	3.56	3.76	3.98	4.15	4.22	4.25	4.46	4.66	4.58	4.71
就職件数(人)	1,002	1,274	1,345	1,252	1,222	1,216	1,002	1,081	1,142	714	902	817	684
充足率	6.2%	8.0%	7.8%	8.2%	7.1%	6.8%	6.4%	6.5%	6.4%	4.5%	5.8%	4.8%	3.8%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

#### <建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
新規求人数	91.8%	97.7%	87.2%	89.1%	102.4%	95.2%	98.1%	95.0%	95.1%	106.7%	105.5%	95.5%	111.7%
有効求人人数	93.3%	94.9%	91.9%	91.4%	93.3%	95.3%	98.3%	96.4%	96.5%	99.5%	103.1%	102.0%	104.3%
新規求職者数	96.1%	97.3%	93.4%	86.4%	95.3%	89.6%	90.7%	89.2%	93.5%	105.6%	95.7%	87.5%	101.7%
有効求職者数	93.2%	95.3%	94.5%	92.2%	92.7%	91.6%	91.8%	91.1%	92.2%	95.8%	95.4%	93.2%	93.6%
有効求人倍率	0.00	-0.01	-0.10	-0.03	0.03	0.16	0.27	0.23	0.19	0.17	0.35	0.40	0.48
就職件数	82.5%	93.5%	91.6%	84.4%	83.9%	85.8%	88.3%	79.9%	84.2%	66.2%	91.2%	85.6%	68.3%
充足率	-0.7%	-0.4%	0.4%	-0.5%	-1.6%	-0.7%	-0.7%	-1.2%	-0.8%	-2.7%	-0.9%	-0.5%	-2.4%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (3)建設技能工の雇用動向

◆建設・採掘の職業の有効求人倍率は3.20倍(前年同月比0.16ポイント上昇)と10カ月連続で前年同月を上回る

◆新規求職者数が10か月ぶりに前年同月を上回った

#### <建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
新規求人数(人)	30,777	30,660	32,199	28,617	31,243	33,205	28,859	32,102	34,288	28,185	26,811	33,498	31,610
有効求人人数(人)	88,382	92,384	90,926	88,243	89,147	90,034	89,912	91,659	92,880	91,487	86,877	86,685	90,289
新規求職者数(人)	8,054	9,257	10,517	7,873	8,259	7,696	7,010	6,994	7,282	6,350	6,089	8,163	8,214
有効求職者数(人)	29,073	31,690	33,651	32,479	31,860	30,515	29,324	28,503	28,008	26,527	25,395	26,642	28,237
有効求人倍率	3.04	2.92	2.70	2.72	2.80	2.95	3.07	3.22	3.32	3.45	3.42	3.25	3.20
就職件数	3,586	4,360	4,545	4,257	4,584	4,233	3,554	3,791	4,081	3,534	3,081	3,029	3,601
充足率	11.7%	14.2%	14.1%	14.9%	14.7%	12.7%	12.3%	11.8%	11.9%	12.5%	11.5%	9.0%	11.4%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

#### <建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
新規求人数	96.7%	98.6%	92.9%	90.8%	98.5%	97.6%	97.1%	95.4%	97.2%	100.8%	103.7%	99.3%	102.7%
有効求人人数	95.9%	96.8%	95.6%	94.1%	95.0%	96.1%	97.9%	97.4%	96.9%	98.9%	101.0%	101.3%	102.2%
新規求職者数	103.3%	100.0%	94.1%	89.4%	97.1%	92.4%	95.8%	84.1%	91.8%	99.6%	99.6%	93.2%	102.0%
有効求職者数	96.1%	97.1%	96.0%	93.4%	94.2%	93.2%	94.2%	91.7%	92.0%	93.7%	95.8%	95.5%	97.1%
有効求人倍率	-0.01	-0.01	-0.01	0.02	0.02	0.09	0.12	0.19	0.17	0.18	0.18	0.18	0.16
就職件数	88.2%	96.7%	84.5%	82.7%	90.0%	84.7%	86.3%	80.6%	84.0%	89.4%	93.1%	89.5%	100.4%
充足率	-1.1%	-0.3%	-1.4%	-1.5%	-1.4%	-1.9%	-1.5%	-2.2%	-1.9%	-1.6%	-1.3%	-1.0%	-0.3%

### 3 2016 年 2 月の雇用関連データのまとめ(2016 年 3 月 29 日公表)

◆就業者数、雇用者数ともに増加しており、雇用環境は改善基調が続く

就業者数は 6,351 万人(前年同月比 29 万人増)で 15 カ月連続の増加となった。雇用者数は 5,684 万人(同 89 万人増)と前月に続いて大幅な増加となり、雇用環境は改善基調が続いていると考えられる。

◆完全失業率は 3.3%で、前月比 0.1 ポイント悪化

完全失業者数は 213 万人(前年同月比 13 万人の減少)で 69 カ月連続の減少となった。完全失業率(季節調整値)は前月と比べ 0.1 ポイント悪化して 3.3%となった。

時系列に前年同月を見ると、完全失業者数は 2012 年から 5 年連続の減少、完全失業率も 2012 年から 5 年連続の改善となっており、中長期的にも雇用環境は改善傾向が続いていると言える。

【主要雇用環境指標の推移】

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
労働力人口(万人)	6,548	6,547	6,576	6,624	6,648	6,603	6,603	6,665	6,640	6,588	6,588	6,610	6,564
対前年同月増減(万人)	32	3	-16	-16	14	-1	8	30	17	-2	21	70	16
就業者数(万人)	6,322	6,319	6,342	6,400	6,425	6,381	6,379	6,439	6,432	6,379	6,385	6,399	6,351
対前年同月増減(万人)	39	21	4	2	36	24	16	37	42	8	28	90	29
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	57.1%	57.1%	57.3%	57.8%	58.0%	57.6%	57.6%	58.1%	58.0%	57.6%	57.6%	57.8%	57.4%
対前年同月増減	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%	0.1%	0.2%	0.8%	0.3%
雇用者数(万人)	5,595	5,580	5,578	5,624	5,665	5,632	5,639	5,687	5,704	5,676	5,694	5,712	5,684
対前年同月増減(万人)	51	39	29	32	48	32	39	51	75	39	49	101	89
完全失業者数(万人)	226	228	234	224	224	222	225	227	208	209	204	211	213
対前年同月増減(万人)	-6	-18	-20	-18	-21	-26	-6	-6	-25	-10	-6	-20	-13
完全失業率	3.50%	3.40%	3.30%	3.30%	3.40%	3.30%	3.40%	3.40%	3.10%	3.30%	3.30%	3.20%	3.30%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

【主要雇用環境指標の前年同月の推移】

	2012年2月	2013年2月	2014年2月	2015年2月	2016年2月
労働力人口(万人)	6,515	6,242	6,516	6,548	6,564
対前年同月増減(万人)	-7	-273	274	32	16
就業者数(万人)	6,226	6,242	6,283	6,322	6,351
対前年同月増減(万人)	7	16	41	39	29
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	56.1%	56.3%	56.7%	57.1%	57.4%
対前年同月増減	-0.2%	0.2%	0.4%	0.4%	0.3%
雇用者数(万人)	5,488	5,515	5,544	5,595	5,684
対前年同月増減(万人)	-2	27	29	51	89
完全失業者数(万人)	289	277	232	226	213
対前年同月増減(万人)	-13	-12	-45	-6	-13
完全失業率	4.5%	4.3%	3.6%	3.5%	3.3%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆宿泊業・飲食サービス業と医療・福祉が増加

産業別に就業者数を見ると、最も増加数が多いのは宿泊業・飲食サービス業であり、前年同月比 24 万人の増加で 400 万人となった。次いで、医療・福祉が前年同月比 22 万人の増加で 793 万人となった(9 カ月連続の増加)。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	160	478	1,045	193	342	1,071	161
	対前年同月増減	-8	-1	-6	-7	4	0	9
雇用者	実数(万人)	47	386	996	185	330	982	157
	対前年同月増減	1	-1	9	-6	6	11	8

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類さ れない)
就業者	実数(万人)	120	212	400	226	308	793	423
	対前年同月増減	4	-2	24	5	4	22	4
雇用者	実数(万人)	107	164	340	178	285	764	385
	対前年同月増減	6	0	24	12	7	23	9

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆正規社員は 15 カ月連続の増加

正規の職員・従業員数は 3,333 万人(前年同月比 90 万人増)と 15 カ月連続の増加、非正規の職員・従業員数は 2,008 万人(前年同月比 34 万人増)と 3 カ月連続の増加となった。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
役員を除く雇用者数(万人)	5,252	5,245	5,233	5,281	5,315	5,293	5,302	5,335	5,328	5,310	5,355	5,366	5,342
正規の職員・従業員(万人)	3,277	3,271	3,294	3,331	3,345	3,336	3,329	3,348	3,331	3,300	3,316	3,329	3,333
構成比	62.4%	62.4%	62.9%	63.1%	62.9%	63.0%	62.8%	62.8%	62.5%	62.1%	61.9%	62.0%	62.4%
対前年同月増減(万人)	58	38	6	7	21	29	24	21	33	19	25	56	90
非正規の職員・従業員(万人)	1,974	1,973	1,939	1,949	1,970	1,956	1,972	1,986	1,997	2,010	2,038	2,037	2,008
構成比	37.6%	37.6%	37.1%	36.9%	37.1%	37.0%	37.2%	37.2%	37.5%	37.9%	38.1%	38.0%	37.6%
対前年同月増減(万人)	-15	9	30	28	34	17	24	16	17	-2	22	48	34

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業率は、男性が前月比 0.2 ポイント上昇、女性は前月通り

完全失業率(季節調整値)を男女別に見ると、男性が前月比 0.2 ポイント上昇で 3.6%、女性が前月比 0.1 ポイント低下で 2.8%となった。

◆45 歳～54 歳の女性の完全失業率が最も改善

男女別・年齢階級別に完全失業率(季節調整値)を見ると、45 歳～54 歳の女性の完全失業率が 2.4%(前月比 0.7 ポイント低下)と最も大幅な改善となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	213	-13	3.3%	0.1
(男)	134	-3	3.6%	0.2
(女)	79	-9	2.8%	-0.1
15歳～24歳	29	0	5.9%	0.9
(男)	16	0	6.3%	0.5
(女)	12	-1	5.0%	1.0
25歳～34歳	48	-7	3.9%	-0.3
(男)	29	-5	4.1%	-0.3
(女)	19	-1	3.8%	-0.1
35歳～44歳	46	-3	3.0%	0.2
(男)	27	-2	2.9%	0.0
(女)	18	-2	2.9%	0.2
45歳～54歳	39	0	2.8%	-0.3
(男)	23	2	3.1%	0.1
(女)	16	-2	2.4%	-0.7
55歳～64歳	35	-3	3.1%	0.2
(男)	25	0	3.9%	0.3
(女)	10	-4	2.0%	0.1
65歳以上	16	0	2.1%	0.4
(男)	14	2	—	—
(女)	3	-1	—	—

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆「勤め先や事業の都合による離職」の減少傾向が続く

完全失業者を求職理由別に見ると、「勤め先や事業の都合による離職」が 38 万人(前年同月比 3 万人減)と減少傾向が続いており、景気が回復基調で推移する中、倒産やリストラ等の事業者都合による離職は減少傾向が続いている。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	41	44	41	42	40	39	41	41	39	35	38	44	38
対前年同月増減(万人)	-8	-5	-6	-1	-6	-9	-3	-5	-7	-11	-6	-2	-3
定年または雇用契約終了による離職(万人)	24	26	32	25	26	22	26	24	24	23	21	21	22
対前年同月増減(万人)	-1	-1	-5	-6	-1	-4	0	2	-2	-1	0	-3	-2
自発的な離職(自己都合)(万人)	93	85	87	88	85	90	93	94	87	90	85	84	90
対前年同月増減(万人)	3	-5	-3	-2	-10	-4	0	-2	-4	6	0	-9	-3

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

**◆有効求人倍率は前月と同じで 1.28 倍**

有効求人倍率(季節調整値)は 1.28 倍で前月と同じであった。新規求人倍率(季節調整値)は前月比 0.15 ポイント低下し 1.92 倍となった。一方、正社員求人倍率は前月比 0.01 ポイント上昇して 0.80 倍となった。

**【有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】**

	2013年 平均	2014年 平均	2015年 平均	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
有効求人倍率(倍)	0.93	1.09	1.20	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24	1.24	1.25	1.27	1.28	1.28
新規求人倍率(倍)	1.46	1.66	1.80	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78	1.83	1.85	1.86	1.83	1.93	1.90	2.07	1.92
正社員有効求人倍率(倍)	0.56	0.67	0.75	0.70	0.71	0.72	0.75	0.75	0.75	0.76	0.77	0.77	0.79	0.80	0.80	0.81

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

**◆有効求人数・有効求職者数ともに増加**

有効求人数、有効求職者数ともに前月比 1.2% 増となった。

**【有効求人数・有効求職者数(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】**

	2015年2月	3月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
有効求人数	2,328,190	2,320,998	2,340,853	2,347,463	2,369,501	2,406,331	2,409,876	2,426,961	2,453,214	2,487,664	2,448,399	2,479,282
前月比増減率	0.7%	-0.3%	0.5%	0.3%	0.9%	1.5%	0.1%	0.7%	1.1%	1.4%	-1.6%	1.2%
有効求職者数	2,028,815	2,006,767	1,977,198	1,968,013	1,966,042	1,974,043	1,954,271	1,951,058	1,950,922	1,954,301	1,912,648	1,935,460
前月比増減率	0.4%	-1.1%	-0.9%	-0.5%	-0.1%	0.4%	-1.0%	-0.2%	0.0%	0.2%	-2.2%	1.2%

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

**◆「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」と「建築・土木・測量技術者」では、更に人材不足が深刻化**

最も人材不足が深刻なのは依然として「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」であり、有効求人倍率は 8.00 倍(前年同月比 0.06 ポイント上昇)となっている。次いで、「建築・土木・測量技術者」が 4.71 倍(前年同月比 +0.48 ポイント)となり、建設業各社にとって人材確保が困難な状況が続いている。

**【職業別有効求人倍率(除パート)の推移】**

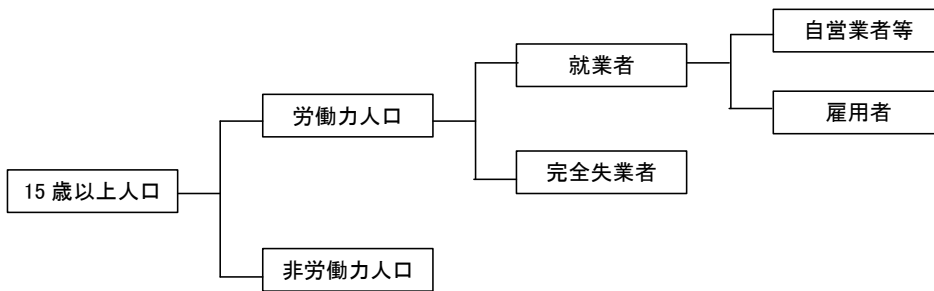
	2013年 平均	2014年 平均	2015年 平均	2015年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月
職業計	0.74	0.89	0.98	1.00	0.96	0.89	0.88	0.92	0.96	0.99	1.02	1.03	1.07	1.10	1.12	1.11
専門的・技術的職業	1.43	1.61	1.74	1.83	1.72	1.53	1.53	1.61	1.69	1.74	1.79	1.80	1.89	1.98	2.00	1.97
開発技術者	1.25	1.62	1.86	1.92	1.81	1.70	1.72	1.80	1.86	1.88	1.92	1.88	1.95	1.99	1.98	2.00
建築・土木・測量技術者	3.36	3.97	4.07	4.23	4.06	3.57	3.56	3.76	3.98	4.15	4.22	4.25	4.46	4.66	4.58	4.71
情報処理技術者	1.64	1.95	2.16	2.22	2.20	2.08	2.01	2.11	2.12	2.17	2.17	2.14	2.23	2.31	2.38	2.47
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	7.73	7.72	7.18	7.94	7.44	6.39	6.54	6.84	7.06	7.07	7.14	7.03	7.46	7.50	7.64	8.00
保健師、助産師、看護師	2.99	2.90	2.78	3.04	2.85	2.47	2.50	2.60	2.68	2.70	2.75	2.72	2.92	3.16	3.08	2.94
医療技術者	2.55	2.71	2.88	3.12	2.94	2.57	2.52	2.64	2.80	2.91	2.88	2.93	3.10	3.23	3.24	3.20
その他の保健医療の職業	1.13	1.25	1.39	1.41	1.39	1.26	1.22	1.27	1.36	1.41	1.45	1.45	1.51	1.57	1.57	1.49
社会福祉専門の職業	1.40	1.71	2.05	2.11	1.94	1.61	1.65	1.79	1.97	2.10	2.21	2.28	2.35	2.50	2.52	2.35
美術家、デザイナー、写真家	0.32	0.36	0.38	0.39	0.38	0.35	0.34	0.36	0.37	0.38	0.39	0.40	0.41	0.42	0.43	0.45
事務的職業	0.22	0.27	0.30	0.32	0.31	0.27	0.26	0.28	0.29	0.30	0.31	0.31	0.32	0.32	0.34	0.36
販売の職業	0.88	1.06	1.22	1.20	1.16	1.09	1.10	1.16	1.22	1.26	1.29	1.29	1.35	1.40	1.44	1.45
サービスの職業	1.30	1.60	1.94	1.85	1.78	1.73	1.77	1.84	1.92	1.99	2.03	2.08	2.17	2.28	2.29	2.23
生産工程の職業	0.66	0.93	1.03	1.04	1.01	0.95	0.93	0.96	0.99	1.03	1.07	1.08	1.11	1.13	1.14	1.15
輸送・機械運転の職業	1.34	1.58	1.69	1.71	1.65	1.57	1.58	1.61	1.64	1.68	1.72	1.74	1.82	1.86	1.87	1.86
建設・採掘の職業	2.46	2.96	3.04	3.04	2.92	2.70	2.72	2.8	2.95	3.07	3.22	3.32	3.45	3.42	3.25	3.20

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成



## <用語解説>

### 1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



#### \* 労働力人口

15 歳以上で働く意思と能力を持つ者。

#### \* 非労働力人口

15 歳以上で働く意思や能力のない者。

#### \* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

#### \* 完全失業者

仕事がなくして仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

#### \* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

#### \* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

### 2. 就業率

「15 歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

### 3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

### 4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

### 5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数 (倍)

\*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

### 6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)